



NEMURO

人物図鑑

ねむろを愛する
素敵な人たち

「情報とともに心も伝わる音訳を」

根室音訳奉仕友の会「花あかり」

会長

前田 まえだ

瑞枝さん みずえ
(62)

「こんにちは」とあいさつをしながらドアを開けると、マイクを前に真剣な面持ちで原稿を読み上げる姿が目飛び込んできました。

「今日は、広報ねむろの音訳テープの録音日なんですよ。」と、笑顔で迎えてくれたのは、根室音訳奉仕友の会「花あかり」の前田瑞枝会長です。

「花あかり」の音訳活動は、平成4年に視覚障がい者の方々へ、何かお手伝いができないかと3名の賛同者ではじめた活動で、今年で14年目を迎え、現在では23名の会員となっています。

作製には、読み手・録音・校正・編集に分かれ、3日ほどかけて仕上げていきます。「私たちが何気なく読んでいる文章も、耳のみで聞く方々に正しく伝えるためには、読み方一つにしても主観を差し控え、聞き手の立場となっ

ての工夫が必要になります。写真や図表も色や雰囲気などを言葉で伝えるため、その学習を積み重ねなければなりません。」と、何度も納得いくまでテープの録音を繰り返している前田さんからは、音訳へのこだわりが伝わってきます。

また、「花あかり」が自主制作する「あなたと私のコーヒータイム」は、根室のニュースや健康ガイドなどを、歌詞曲を挟みながら紹介しており、楽しい雰囲気の中で聞いてもらえるものとなっています。

「会員みんな、企画を練りあう時間も楽しいものです。時間をかけて企画したものを、楽しく聞いていただければ大変うれしいことですね。聞いてみたいと思われる方は、是非ご連絡をいただきたいと思います。そして、この活動に参加してみたいと思われた方も、5月から始まる「音訳ボランティア養成講座」に申し込んでいただきたいと思いますね。」

現代では情報を伝える手段がいくつもありますが、このように手作りの温かさを伝える音訳テープは、機械的なものと違い、人と人との深い心のつながりを生み出しています。